

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】 特開 2000-197165 (P2000-197165A)
 【公開日】 平成 12 年 7 月 14 日 (2000.7.14)
 【出願番号】 特願 平 10-372239
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 Q 9/00
 G 0 6 F 3/00
 G 0 6 F 13/00
 H 0 4 L 12/40
 H 0 4 L 12/54
 H 0 4 L 12/58
 H 0 4 L 12/56

【F I】

H 0 4 Q 9/00 3 2 1 D
 H 0 4 Q 9/00 3 0 1 B
 G 0 6 F 3/00 Z
 G 0 6 F 13/00 3 5 7 A
 H 0 4 L 11/00 3 2 0
 H 0 4 L 11/20 1 0 1 Z
 H 0 4 L 11/20 1 0 2 D

【手続補正書】
 【提出日】 平成 16 年 5 月 31 日 (2004.5.31)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 特許請求の範囲
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ネットワークに接続された入力機器、出力機器及び情報処理装置を組み合わせてなるマルチファンクションシステムにおいて、

前記ネットワーク上にある機器のうち特定の機器を前記マルチファンクションシステムの構成要素として登録する機器登録手段を有し、

前記情報処理装置が、

前記機器登録手段に登録されている入力機器及び出力機器から機器固有の情報を獲得する機器情報獲得手段と、

前記機器情報獲得手段によって獲得された情報から入力機器と出力機器の組み合わせによって構成される機能を決定する機能決定手段とを有することを特徴とするマルチファンクションシステム。

【請求項 2】

前記機器登録手段が前記情報処理装置上に設けられていることを特徴とする請求項 1 のマルチファンクションシステム。

【請求項 3】

前記決定される機能は入力機器から出力機器へのコピー機能を含むことを特徴とする請求項 1 記載のマルチファンクションシステム。

【請求項 4】

前記情報処理装置が前記決定された機能を保管する機能保管手段を更に有し、

前記入力機器及び出力機器は、前記機能保管手段から機能を規定する情報を獲得する獲得手段と、該獲得された情報に基づいて、前記入力機器から出力機器へのデータ転送を行うデータ転送手段とを有することを特徴とする請求項1のマルチファンクションシステム。

【請求項5】

ネットワークに接続された入力画像機器、出力画像機器及び情報処理装置を組み合わせたなるマルチファンクションシステムにおいて、

前記ネットワーク上にある機器のうちの特定の機器を前記マルチファンクションシステムの構成要素として登録する機器登録手段を有し、

前記情報処理装置が、

前記機器登録手段に登録されている入力画像機器及び出力画像機器から機器固有の情報を獲得する機器情報獲得手段と、

該機器情報獲得手段により得た情報を保管する機器情報保管手段と、

該機器情報保管手段内の情報から入力画像機器と出力画像機器の組み合わせによって構成される機能を決定する機能決定手段とを有することを特徴とするマルチファンクションシステム。

【請求項6】

前記決定される機能は、画像入力機器から画像出力機器へのコピー動作であることを特徴とする請求項5記載のマルチファンクションシステム。

【請求項7】

前記機器登録手段はTCP/IPに基づくIPアドレスで登録することを特徴とする請求項5記載のマルチファンクションシステム。

【請求項8】

前記画像入力機器が操作パネルを有し、該操作パネル上の操作により操作者の所望の印刷を可能にしたことを特徴とする請求項5記載のマルチファンクションシステム。

【請求項9】

ネットワークに接続された入力機器から出力機器にデータを転送するマルチファンクションシステムにおいて、

前記ネットワーク上にある機器のうちの特定の機器を前記マルチファンクションシステムの構成要素として登録する機器登録手段と、

前記機器登録手段に登録されている入力機器及び出力機器から機器固有の情報を獲得する機器情報獲得手段と、

前記機器情報獲得手段によって獲得された情報から入力機器と出力機器の組み合わせによって構成される機能を決定する機能決定手段とを有することを特徴とするマルチファンクションシステム。

【請求項10】

前記決定される機能は入力機器から出力機器へのコピー機能を含むことを特徴とする請求項9記載のマルチファンクションシステム。

【請求項11】

ネットワークに接続された入力画像機器、出力画像機器及び情報処理装置を組み合わせたなるリモートコピーシステムであって、

前記ネットワーク上にある機器のうちの特定の機器を前記リモートコピーシステムの構成要素として登録する機器登録手段を有し、

前記情報処理装置が、

前記機器登録手段に登録されている入力画像機器及び出力画像機器から機器固有の情報を獲得する機器情報獲得手段と、

前記機器情報獲得手段によって獲得された情報から入力画像機器と出力画像機器の組み合わせによって構成されるコピー機能を決定するコピー機能決定手段とを有することを特徴とするリモートコピーシステム。

【請求項 1 2】

ネットワークに接続された入力機器から出力機器にデータを転送するマルチファンクションシステムにおけるデータ転送方法であって、

前記ネットワーク上にある機器のうちの特定の機器を前記マルチファンクションシステムの構成要素として登録し、

前記登録されている入力機器及び出力機器からの機器固有の情報の組み合わせによって、構成されうる合成機能を決定し、

該合成機能により、入力機器から出力機器にデータを転送することを特徴とするデータ転送方法。

【請求項 1 3】

ネットワークに接続された入力機器から出力機器にデータを転送するマルチファンクションシステムにおけるデータ転送制御プログラムをコンピュータ読取り可能に記憶する記憶媒体であって、

前記データ転送制御プログラムが、

前記ネットワーク上にある機器のうちの特定の機器を前記マルチファンクションシステムの構成要素として登録するモジュールと、

前記登録されている入力機器及び出力機器から機器固有の情報を獲得するモジュールと、

獲得された情報から入力機器と出力機器の組み合わせによって構成されうる機能を決定するモジュールとを含むことを特徴とする記憶媒体。

【請求項 1 4】

ネットワークに接続された入力機器から出力機器にデータを転送するマルチファンクションシステムにおけるデータ転送制御プログラムをコンピュータ読取り可能に記憶する記憶媒体であって、

前記データ転送制御プログラムが、

前記ネットワーク上にある機器のうちの特定の機器から、自機器を含んで入力機器から出力機器にデータを転送する機能を規定する情報を獲得するモジュールと、

該獲得された情報に基づいて、前記自機器と他機器間でデータ転送を行うモジュールとを含むことを特徴とする記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記の課題を克服するため、本発明のマルチファンクションシステムは、ネットワークに接続された入力機器、出力機器及び情報処理装置を組み合わせるなるマルチファンクションシステムにおいて、前記ネットワーク上にある機器のうちの特定の機器を前記マルチファンクションシステムの構成要素として登録する機器登録手段を有し、前記情報処理装置が、前記機器登録手段に登録されている入力機器及び出力機器から機器固有の情報を獲得する機器情報獲得手段と、前記機器情報獲得手段によって獲得された情報から入力機器と出力機器の組み合わせによって構成されうる機能を決定する機能決定手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

又、本発明のリモートコピーシステムは、ネットワークに接続された入力画像機器、出力画像機器及び情報処理装置を組み合わせるリモートコピーシステムであって、前記ネットワーク上にある機器のうちの特定の機器を前記リモートコピーシステムの構成要素として登録する機器登録手段を有し、前記情報処理装置が、前記機器登録手段に登録されている入力画像機器及び出力画像機器から機器固有の情報を獲得する機器情報獲得手段と、前記機器情報獲得手段によって獲得された情報から入力画像機器と出力画像機器の組み合わせによって構成されるコピー機能を決定するコピー機能決定手段とを有することを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

又、本発明のデータ転送方法は、ネットワークに接続された入力機器から出力機器にデータを転送するマルチファンクションシステムにおけるデータ転送方法であって、前記ネットワーク上にある機器のうちの特定の機器を前記マルチファンクションシステムの構成要素として登録し、前記登録されている入力機器及び出力機器からの機器固有の情報の組み合わせによって、構成される合成機能を決定し、該合成機能により、入力機器から出力機器にデータを転送することを特徴とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

又、本発明の記憶媒体は、ネットワークに接続された入力機器から出力機器にデータを転送するマルチファンクションシステムにおけるデータ転送制御プログラムをコンピュータ読取り可能に記憶する記憶媒体であって、前記データ転送制御プログラムが、前記ネットワーク上にある機器のうちの特定の機器を前記マルチファンクションシステムの構成要素として登録するモジュールと、前記登録されている入力機器及び出力機器から機器固有の情報を獲得するモジュールと、獲得された情報から入力機器と出力機器の組み合わせによって構成される機能を決定するモジュールとを含むことを特徴とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

又、ネットワークに接続された入力機器から出力機器にデータを転送するマルチファンクションシステムにおけるデータ転送制御プログラムをコンピュータ読取り可能に記憶する記憶媒体であって、前記データ転送制御プログラムが、前記ネットワーク上にある機器のうちの特定の機器から、自機器を含んで入力機器から出力機器にデータを転送する機能を規定する情報を獲得するモジュールと、該獲得された情報に基づいて、前記自機器と他機器間でデータ転送を行うモジュールとを含むことを特徴とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 1 3 】

【 発明の 効果 】

以上説明したように、本発明により、自動的に登録されている入力機器及び出力機器の情報を集めるだけで、ユーザの望む範囲、例えば1つのフロア内にある機器をひとくくりのシステムにすることにより、意図しない遠くにあるプリンタなどの出力機器から勝手に出力されることを無くすマルチファンクションシステム、リモートコピーシステム及びそのデータ転送方法を提供できる。